

# 富士宮市文化財年報

第11号

令和2年度



2022

富士宮市教育委員会

# 富士宮市文化財年報

第11号

令和2年度

2022  
富士宮市教育委員会

## 例 言

- 1 本書は、令和2年度に実施した富士宮市内における文化財保護事業の概要をまとめたものである。
- 2 文化財保護事業は、文化財保存・管理事業、埋蔵文化財事業、郷土資料館事業、歩く博物館事業、市史編さん事業、その他の事業に分類した。
- 3 本書の執筆・編集は、富士宮市教育委員会教育部文化課の各担当（令和3年度）が行った。

#### 4 令和2年度文化財関係組織

教 育 長	池谷 眞徳	
教 育 部 長	植松 宏幸	
教育部参事兼文化課長兼埋蔵文化財センター所長兼市史編さん室長	深澤 哲治	
学 術 文 化 財 係 長	保竹 貴幸	(文化財管理担当)
学 術 文 化 財 係 学 芸 員	高橋 菜月	(文化財管理担当)
同 会 計 年 度 任 用 職 員	柿崎 沙織	(文化財管理担当)
埋 蔵 文 化 財 セ ン タ ー 学 芸 員	深澤 麻衣	(埋蔵文化財担当)
同 学 芸 員	渡井 英誉	(埋蔵文化財担当)
同 学 芸 員	原 悠翔	(埋蔵文化財担当)
同 会 計 年 度 任 用 職 員	馬飼野 行雄	(埋蔵文化財担当)
同 会 計 年 度 任 用 職 員	小倉 久美	(埋蔵文化財担当)
市 史 編 さ ん 室 主 任 主 査	渡邊 俊太	(市史編さん担当)
同 学 芸 員	松本 将太	(市史編さん担当)
郷 土 資 料 館 会 計 年 度 任 用 職 員	渡井 一信	(郷土資料館長)
同 会 計 年 度 任 用 職 員	喜多 恭子	(郷土資料館担当)

《表紙写真：『大鹿窪遺跡遠景』》

撮影：鈴木 雄介氏

# 目次

富士宮市文化財年報第 11 号の刊行にあたって	1
<b>I 令和 2 年度の文化財保護事業</b>	
1 概要	4
2 文化財保護事業一年の歩み	5
<b>II 文化財保存・管理事業</b>	
1 文化財保護審議会	6
(1) 文化財保護審議会の開催	
2 指定文化財整備事業	7
(1) 史跡「富士山」整備事業	
(2) 名勝及び天然記念物「白糸ノ滝」整備事業	
(3) 史跡「大鹿窪遺跡」整備事業	
3 指定文化財保存管理事業	9
(1) 富士宮市文化財保護補助金の交付	
(2) 指定文化財保護対策事業	
(3) 文化財防火デー	
4 未指定文化財調査事業	11
(1) どんど焼き・小正月行事調査	
<b>III 埋蔵文化財事業</b>	
1 市内遺跡発掘調査事業（補助事業）	12
(1) 史跡大鹿窪遺跡発掘調査	
(2) 史跡富士山（村山浅間神社）発掘調査	
2 発掘調査報告書作成	14
3 開発行為に伴う埋蔵文化財の試掘・確認調査	15
(1) 出水遺跡	
(2) 村山浅間神社遺跡	
(3) 浅間大社遺跡	
(4) 滝戸遺跡	
4 富士宮市埋蔵文化財センター	23
(1) 施設概要	
(2) 現地説明会	
<b>IV 郷土資料館事業</b>	
1 展示	24
(1) 常設展示	
(2) 館蔵品展示	
2 資料収集・保存管理	24

(1) 資料収集	
(2) 保存管理	
3 古文書等解読刊行事業	26
(1) 角田家文書刊行事業	
4 絵図修復事業	26
(1) 絵図修復事業	
5 静岡県富士山世界遺産センター共同展示事業	26
(1) 曼荼羅複製作成事業	
V 歩く博物館事業	
1 標柱・説明板整備	27
VI 市史編さん事業	
1 概要	27
2 市史編さん委員会	27
(1) 市史編さん委員会の開催	
3 分野別の活動	27
(1) 自然環境	
(2) 民俗	
(3) 考古	
(4) 中世	
(5) 近世	
(6) 近現代	
4 その他	28
VII その他の事業	
1 問合せ対応	29
2 小中学校総合学習への対応	29
3 講師派遣	29
(1) 富士山まちづくり出前講座	
資料 i 史跡大鹿窪遺跡発掘調査現地説明会資料	30
資料 ii 各委員会等委員名簿	34
資料 iii 富士宮市内指定文化財等一覧	37

# 富士宮市文化財年報第 11 号の刊行にあたって

文化課長 深澤 哲治

「富士宮市文化財年報」第11号の刊行にあたり、富士宮市における文化財行政の動きや富士宮市の文化財をめぐる出来事について、令和2年度を振り返ってみます。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延により様々な活動が制約を受ける中、様々な工夫をしながら活動しました。

## 1 市指定文化財の指定

令和2年12月21日に「田貫湖のハコネグミ」及び「田貫湖のアシタカツツジ群落」について富士宮市指定文化財の指定について諮問しました。なお、2件の文化財は令和3年6月16日に市指定天然記念物に指定されています。

## 2 指定文化財等の整備・活用

### (1) 世界遺産富士山構成資産

ユネスコの世界遺産センターに提出された推薦書の付属資料である包括的保存管理計画に記載された整備・公開・活用の促進を具現化し、本質的価値の保存と次世代への継承、及び地域資源としての活用を図るため、「富士宮市『史跡富士山』整備基本計画」に沿って、整備を進めています。令和2年度は富士山本宮浅間大社及び村山浅間神社の整備について次の作業を行いました。

#### ○富士山本宮浅間大社

「富士山本宮浅間大社整備基本計画」に基づき、護摩堂跡及び旧参道跡の整備基本設計を作成しました。

#### ○村山浅間神社

第2期史跡整備基本計画に必要なデータを収集するため、水垢離場及び龍頭池周辺についての内容確認調査を行いました。

また、駐車場整備の事前準備として3回の確認調査を行いました。

### (2) 名勝及び天然記念物「白糸ノ滝」

用地買い上げと売店集約化を促進するとともに、売店跡地の公園整備を継続しました。また、尾根部分についての整備基本計画の作成に向けた植生調査等に着手しました。

### (3) 史跡大鹿窪遺跡

縄文時代草創期～早期の遺跡であり、移動生活から定住生活への過渡期の集落遺跡とされる大鹿窪遺跡の本質的価値を伝えるため、史跡の整備に取り組んでいます。

令和2年度は、整備に必要なデータを収集するため、発掘調査を行い、遺構面や微地形などの測量、年代測定資料の採取、土層剥ぎ取り標本の作製などのデータを収集しました。

### 3 文化財保護・調査等への継続的取組

歴史豊かな富士宮市には、世界遺産関係以外にも数多くの文化財があります。

まず、文化財保護事業のうち継続事業としては国指定特別天然記念物「狩宿の下馬ザクラ」、県指定天然記念物「猪之頭のミツバツツジ」、並びに「西山本門寺の大ヒイラギ」の施肥・消毒を継続し、文化財樹木の保護を図りました。また、所有者である富士山本宮浅間大社と協力し、国指定特別天然記念物「湧玉池」の清掃を実施しました。

開発行為に伴う埋蔵文化財の確認については、ジゲン沢遺跡など31か所において試掘・確認調査を行いました。

郷土資料館では、常設展示と館蔵品展示（前期・後期）を行うとともに、多くの資料の収集・整理と保存処理を実施しました。

また、所有者である富士山本宮浅間大社が国・県・市の補助金を受け行っていた国指定重要文化財「絹本著色富士曼荼羅図」の修復が完了したことから、修復後の高精度の写真データ作成及びレプリカ制作を行いました。



写真1 絹本著色富士曼荼羅図レプリカ用写真撮影



写真2 絹本著色富士曼荼羅図色校正

### 4 埋蔵文化財センターの活動

平成26年に開設した埋蔵文化財センターは、約半世紀にわたり行われてきた市内の埋蔵文化財の発掘調査による膨大な出土資料とともに、埋蔵文化財を含む市内の文化財を集約・保管し、調査・研究・公開するとともに、文化財活用の企画を行う拠点としても機能していくという役割を担っています。

具体的な活動内容は、埋蔵文化財の調査・研究・整理及び出土資料の収蔵、土器などの埋蔵文化財の展示、体験学習教室や講座の開催などです。

また、発掘に伴い、遺跡の現地説明会やこれまでに行った発掘報告書の作成も行っており、令和2年度は大鹿窪遺跡の発掘調査説明会及び滝戸遺跡ほかの調査報告書として『富士宮市の遺跡Ⅶ』を刊行しました。

しかしながら、浸水区域に所在するという立地、施設の劣化に伴う環境悪化など施設面での課題が多く、今後の（仮称）富士宮市立郷土史博物館の構想策定の中で、充実と利活用について検討する必要があります。



写真3 埋蔵文化財センター



写真4 埋蔵文化財資料整理作業

## 5 市史編さん事業

富士宮市史は昭和61年の発行以降、長い年月が経過したことから、市制施行80周年となる令和4年度からの発行を目指し、市史編さん準備室を設立し、令和2年度は市史編さん室に改称しました。

令和2年度は、編さん方針の検討や執筆員の選任を行い、執筆活動に向けて分野ごとの調査に着手しました。

## 6 むすびに

当市の文化財行政においては、多種多様な数多くの文化財の保護・調査・保存をはじめ、世界遺産富士山の構成資産をはじめとする史跡活用に向けた整備、市史編さん事業など多くの事業に取り組んでいます。

また、文化庁は保存や管理に加え、守り伝えた「地方の宝」を磨き、地域資源として積極的に活用する方針を打ち出しています。そのため、地方にもより一層の主体的取り組みが必要となり、その指針としての文化財保存活用地域計画の策定が求められます。

このような状況の中、当市においても文化財の保存・活用に関する課題が山積していますが、市民が多彩で豊かな郷土の歴史に誇りを持てるよう、文化財の保護と、市内の歴史的・文化的資産の一層の掘り起こしに努め、調査研究の成果を市民の皆さんに還元していきたいと考えています。

富士宮市の豊かな歴史を守り伝えていくために、これからも、関係者の皆様のご支援とご協力をいただきますようお願いいたします。

# I 令和2年度の文化財保護事業

## 1 概要

富士宮市における令和2年度の文化財保護関連事業の概要は、下記のとおりである。

### 〈文化財保存・管理事業〉

史跡「富士山」、名勝及び天然記念物「白糸ノ滝」、史跡「大鹿窪遺跡」の各文化財について、今年度も各整備委員会等の指導を得て調査・整備等の事業を実施した。

史跡「富士山」については、「富士山本宮浅間大社」において富士山信仰に係る遺跡「護摩堂跡」及び「旧参道跡」の整備基本設計を作成した。

名勝及び天然記念物「白糸ノ滝」では、既存店舗の集約用地の造成が完了した。また景観を向上させるため、白糸ノ滝のエントランスとなる土地の整備を行っている。

史跡「大鹿窪遺跡」では、今後の整備のため、測量調査及び動画・写真撮影を行った。

その他、文化財防火デー（1月26日）における防火運動の実施や、市内指定文化財の保存・管理事業への補助金交付や未指定文化財調査等、文化財保存・管理事業を推進した。

### 〈埋蔵文化財事業〉

国・県の補助金を受けて、史跡大鹿窪遺跡、史跡富士山（村山浅間神社）の発掘調査を実施した。

開発行為に伴う埋蔵文化財の試掘・確認調査を31件実施した。

### 〈郷土資料館事業〉

郷土資料館において、常設展のほか館蔵品の展示を前期・後期の2回に分けて実施した。

資料収集・保存管理事業として、民俗資料等の収集や収蔵品くん蒸を実施し、古文書等解説刊行事業として、角田家文書の解説作業を完了し、『角田家文書』を刊行した。

また、静岡県富士山世界遺産センターと共同で、令和3年度に展示会を開催することとし、展示品として国重要文化財「絹本著色富士曼荼羅図」の複製品を作成した。

### 〈歩く博物館事業〉

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、歩く博物館探索会を中止した。

沼久保地区、黒田・山本地区の2コースについて標柱や説明板の説明内容の更新等の整備を行った。

### 〈市史編さん事業〉

市史の分野別に執筆者を選任し、打合せ、調査を実施した。

編さん委員会では、刊行スケジュールや執筆要領について検討を行った。

〈その他の事業〉

市内の歴史・民俗等に関する問合せに対応したほか、小中学校の総合学習（富士山学習）への対応や、富士山まちづくり出前講座等の講師を務めた。

## 2 文化財保護事業一年の歩み

〈令和2年〉

- 4月26日 郷土資料館館蔵品展示（前期）実施（9月25日まで）
- 5月21日 ジンゲン沢遺跡埋蔵文化財確認調査実施
- 5月26日 南部谷戸遺跡埋蔵文化財確認調査実施
- 6月23日 出水遺跡埋蔵文化財確認調査実施（6月25日まで）
- 7月2日 大室遺跡埋蔵文化財確認調査実施
- 7月15日 出水西遺跡埋蔵文化財確認調査実施
- 7月17日 第1回名勝及び天然記念物白糸ノ滝整備委員会開催
- 7月31日 月の輪上遺跡埋蔵文化財確認調査実施
- 8月3日 史跡大鹿窪遺跡発掘調査実施（11月27日まで）
- 8月5日 大中里坂上遺跡埋蔵文化財確認調査実施
- 8月5日 上中村遺跡埋蔵文化財確認調査実施
- 8月24日 第1回史跡大鹿窪遺跡整備委員会開催
- 9月8日 第1回史跡富士山整備委員会開催
- 9月25日 郷土資料館収蔵品くん蒸実施（9月27日まで）
- 10月11日 郷土資料館館蔵品展示（後期）実施（3月31日まで）
- 10月13日 滝戸遺跡埋蔵文化財確認調査実施
- 10月15日 野中向原遺跡埋蔵文化財確認調査実施
- 10月21日 第1回文化財保護審議会開催
- 10月21日 第2回史跡大鹿窪遺跡整備委員会開催
- 10月22日 寺ノ後遺跡埋蔵文化財確認調査実施
- 10月23日 史跡大鹿窪遺跡発掘調査現地説明会開催（10月24日まで）
- 11月24日 渋沢遺跡埋蔵文化財確認調査実施（11月25日まで）
- 11月24日 村山浅間神社遺跡埋蔵文化財確認調査実施（11月25日まで）
- 12月3日 泉遺跡埋蔵文化財確認調査実施
- 12月4日 大宝坊遺跡埋蔵文化財確認調査実施
- 12月8日 丸塚遺跡隣接地埋蔵文化財確認調査実施
- 12月11日 貴船町遺跡埋蔵文化財確認調査実施
- 12月18日 代官屋敷遺跡埋蔵文化財確認調査実施
- 12月21日 第2回文化財保護審議会開催
- 12月21日 第1回市史編さん委員会開催
- 12月21日 城山遺跡埋蔵文化財確認調査実施
- 12月25日 大宮城跡埋蔵文化財確認調査実施

〈令和3年〉

- 1月10日 どんど焼き・道祖神信仰調査実施（市内各所、1月14日まで）
- 1月13日 上ノ原遺跡埋蔵文化財確認調査実施
- 1月15日 南部谷戸遺跡埋蔵文化財確認調査実施
- 1月25日 史跡富士山（村山浅間神社）発掘調査実施（2月12日まで）
- 1月26日 文化財防火デー
- 2月1日 村山浅間神社遺跡埋蔵文化財確認調査実施（2月10日まで）
- 2月15日 浅間大社遺跡埋蔵文化財確認調査実施（2月19日まで）
- 2月18日 甲石遺跡埋蔵文化財確認調査実施
- 2月22日 中ノ土手遺跡埋蔵文化財確認調査実施
- 2月24日 大宮城跡埋蔵文化財確認調査実施
- 2月25日 代官屋敷遺跡埋蔵文化財確認調査実施
- 3月23日 村山浅間神社遺跡埋蔵文化財確認調査実施（2か所）
- 3月24日 滝戸遺跡埋蔵文化財確認調査実施
- 3月29日 第3回文化財保護審議会開催
- 3月31日 『角田家文書』刊行
- 3月31日 『富士宮市の遺跡Ⅶ』刊行

## Ⅱ 文化財保存・管理事業

### 1 文化財保護審議会

#### (1) 文化財保護審議会の開催

第1回 開催日：令和2年10月21日（水）

内 容：市指定文化財候補について審議した。「田貫湖のハコネグミ」及び「田貫湖のアシタカツツジ群落」について調査結果を報告し審議した。

第2回 開催日：令和2年12月21日（月）

内 容：「田貫湖のハコネグミ」及び「田貫湖のアシタカツツジ群落」について、市指定文化財の指定について諮問を受け、現地にて調査・確認を行った。

第3回 開催日：令和3年3月29日（月）

内 容：「田貫湖のハコネグミ」及び「田貫湖のアシタカツツジ群落」の市指定文化財の指定について審議した。市指定文化財候補の「旧池西坊北畠氏文書（村山浅間神社所蔵文書）」及び「旧大鏡坊富士氏文書（村山浅間神社所蔵文書）」について調査結果を報告し審議した。

## 2 指定文化財整備事業

### (1) 史跡「富士山」整備事業

史跡「富士山」（平成23年2月7日指定）について、史跡富士山整備委員会の指導を受けながら、史跡整備事業を実施した。また、便益施設及び史跡内の管理（草刈り等）については地元の地域団体等に委託して実施した。

#### ア 史跡富士山整備委員会の開催

第1回 開催日：令和2年9月8日（火）

内 容：令和元年度の調査・整備事業の報告・説明（村山浅間神社発掘調査、村山浅間神社・大日堂測量調査、村山浅間神社・大日堂整備基本計画策定、富士山本宮浅間大社整備基本設計作成）。

令和2年度の調査・整備事業計画の説明（村山浅間神社発掘調査、富士山本宮浅間大社発掘調査、富士山本宮浅間大社整備基本設計作成）。

#### イ 各構成資産の調査・整備

##### (ア) 富士山本宮浅間大社整備事業

富士山本宮浅間大社にある富士山信仰に係る遺跡「護摩堂跡」及び「旧参道跡」の整備基本設計を作成した。



写真5 護摩堂跡



写真6 護摩堂跡整備イメージ

### (2) 名勝及び天然記念物「白糸ノ滝」整備事業

世界遺産富士山の構成資産となった名勝及び天然記念物「白糸ノ滝」の整備を整備基本計画に基づいて実施している。また基本計画については、整備の実施に合わせて改訂中である。整備に際しては、文化庁の指導のもと、学識経験者から成る整備委員会で整備内容の協議を重ねて進めている。

既存店舗の集約用地の造成が完了し、景観を向上させるために白糸ノ滝のエントランス（入り口）となる土地の整備を行っている。

便益施設及び指定地内の管理（草刈り等）については、地元の業者に委託し実施した。

ア 名勝及び天然記念物白糸ノ滝整備委員会の開催

第1回 開催日：令和2年7月17日（金）

内 容：令和元年度までの買い上げ・整備事業の報告・説明。令和2年度の整備計画の説明（エントランス部分の実施設計及び尾根側の自然林復元）及び事業計画の検討。



写真7 集約用地



写真8 エントランス整備予定地

(3) 史跡「大鹿窪遺跡」整備事業

史跡「大鹿窪遺跡」（平成20年3月28日指定）について、適正な保存・公開・活用を検討するため、史跡大鹿窪遺跡整備委員会を開催した。また、史跡管理のため、指定地内（約6,600㎡）の草刈を地元区に委託して実施した。

ア 史跡大鹿窪遺跡整備委員会の開催

1回目

開催日：令和2年8月24日（月）

内 容：令和2年度 史跡大鹿窪遺跡再発掘調査、令和元年度『史跡大鹿窪遺跡保存整備基本設計』、令和2年度『史跡大鹿窪遺跡整備実施設計』について、内容検討を行った。

2回目

開催日：令和2年10月21日（水）

内 容：令和2年度 史跡大鹿窪遺跡再発掘調査について、内容検討を行った。

### 3 指定文化財保存管理事業

#### (1) 富士宮市文化財保護補助金の交付

「富士宮市文化財保護補助金交付要綱」に基づき、以下の通り市内指定文化財の管理・保存・活用事業に対して補助金の交付を行った。

#### ア 「浅間大社社殿（楼門）」建造物保存修理事業

補助事業者：富士山本宮浅間大社

事業内容：県指定文化財「富士山本宮浅間大社社殿（楼門）」の南面について、指定文化財としての価値を維持・向上させるため、現塗料の搔落とし及び塗装修理を実施した。

#### イ 富士山本宮浅間神社本殿建造物保存修理事業

補助事業者：富士山本宮浅間大社

事業内容：国指定重要文化財「富士山本宮浅間神社本殿」について、早期に火災を発見するため、塀の外に赤外線3波長式炎感知器、天井裏に煙流入を感知するための光電式アナログ煙感知器の設置及びこれらを把握するGR型受信機への交換を実施した。

#### ウ 富士山本宮浅間神社本殿指定文化財管理事業

補助事業者：富士山本宮浅間大社

事業内容：国指定重要文化財「富士山本宮浅間神社本殿」の自動火災報知設備・消火設備（加圧式動力消防ポンプ）・避雷針の保守点検等の文化財管理事業を実施した。

#### エ 富士山本宮浅間大社社殿指定文化財管理事業

補助事業者：富士山本宮浅間大社

事業内容：県指定有形文化財「富士山本宮浅間大社社殿」の自動火災報知設備・消火設備（加圧式動力消防ポンプ）・避雷針の保守点検、放水銃ポンプ発電機修理等の文化財管理事業を実施した。

#### オ 村山浅間神社大日堂大日如来坐像等保存活用事業

補助事業者：村山浅間神社

事業内容：市指定文化財「大日如来坐像（胎蔵界）」他5点の市指定文化財について、防カビ・防虫のためのくん蒸を行った。

(2) 指定文化財保護対策事業

国指定特別天然記念物「狩宿の下馬ザクラ」、静岡県指定天然記念物「猪之頭のミツバツツジ」、同「西山本門寺の大ヒイラギ」の樹勢保持のため、令和3年3月に施肥・消毒等を実施した。



写真9 狩宿の下馬ザクラ（施肥）

(3) 文化財防火デー

文化財防火デーは、国民全体の重要な宝である文化財を火災や震災などの災害から守るために昭和30年に定められたもので、毎年1月26日を中心に全国で文化財防火運動が実施されている。

市内では、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しつつ、富士山本宮浅間大社と大石寺で防火訓練が実施された。また、消防本部による消防設備の点検や、東京電力パワーグリッド（株）富士支社の協力による指定文化財建造物の漏電検査を行った。



写真10 防災訓練（浅間大社）



写真11 消防検査（西山本門寺）

## 4 未指定文化財調査事業

市内で行われる種々の民俗行事について、実施状況調査を行った。

表1 令和2年度調査一覧

	名 称	月 日	場 所
1	どんど焼き・小正月行事調査	1月10日・11日・14日	猪之頭、人穴、半野、原、内房、貫戸、根原

### (1) どんど焼き・小正月行事調査

日 時：令和2年1月10日(日)、11日(月・祝)、14日(木)

場 所：猪之頭、人穴、半野、原、内房、貫戸、根原

調査者：市史編さん委員(民俗)1名、執筆者4名、文化課4名

内 容：どんど焼きは、門松や正月飾りを焼く年中行事として、道祖神祭りとして広く市内で行われている。今年度は市史の民俗部会の調査の一貫として、どんど焼きの調査を実施した。



写真12 ヤナギ作成の様子(根原)



写真13 ヤマを2つ作るどんど焼(猪之頭)

### Ⅲ 埋蔵文化財事業

#### 1 市内遺跡発掘調査事業（補助事業）

国・県の補助金を受け、埋蔵文化財の発掘調査を以下のとおり実施した。

##### (1) 史跡大鹿窪遺跡発掘調査

所在地：富士宮市大鹿窪字東村 1543、1544

期 間：令和2年8月3日～11月27日

面 積：実掘面積 524 m<sup>2</sup>（調査対象面積 652 m<sup>2</sup>）

目 的：大鹿窪遺跡整備に伴う発掘調査

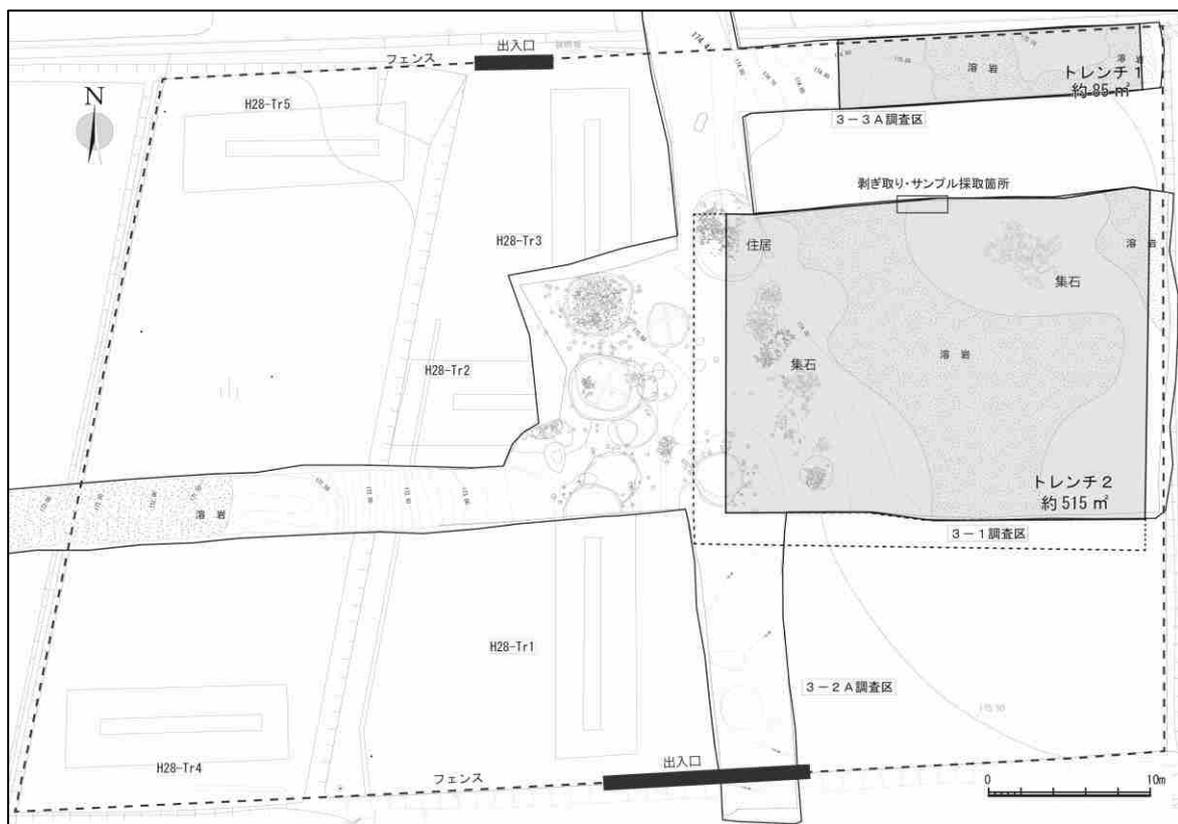


図1 トレンチ位置図

##### 《遺跡の概要》

大鹿窪遺跡は、富士宮市大鹿窪に所在する、縄文時代草創期～早期の集落遺跡である。これまでの調査によって、14基（指定当時）もの縄文時代草創期の竪穴住居（土を掘り込んで作った住居）の痕跡が発見され、土器・石器などの遺物も多数発見された。

##### 《主な遺構・遺物》

遺構：竪穴住居・集石遺構・配石遺構（縄文時代草創期）

遺物：土器・石器（縄文時代草創期～早期）

### 《調査の成果》

平成13年度に発掘調査を実施した3-1・3-3 A調査区の一部を対象に測量調査、自然科学的分析のためのサンプル採取及び土層剥ぎ取りを実施した。大鹿窪遺跡の集落形成直前に富士山の噴火による影響を受けていることやその時の噴火で流れ込んだ溶岩流を生活に利用していたことが認識できた。



写真 14 大鹿窪遺跡空撮



写真 15 トレンチ 2 完掘状況

### (2) 史跡富士山（村山浅間神社）発掘調査

所在地：富士宮市村山 1149-3、1152-2

期間：令和3年1月25日～2月12日

面積：実掘面積9㎡

目的：史跡整備に伴う発掘調査

### 《遺跡の概要》

村山浅間神社遺跡では、縄文時代中期の土器が採集されており、縄文時代中期ごろから人々の活動域であったと想定される。それ以降の時期の人々の活動痕跡は明瞭ではなく、7世紀の須恵器瓶・杯が神社に納められているが、周囲に古墳時代の遺跡が皆無であることから他所から持ち込まれた可能性が高い。遺跡内からは主に近世・近現代の陶磁器等が出土している。

平成23年に富士山が国指定史跡として指定され、村山浅間神社もその構成要素の1つとして富士山本宮浅間大社等とともに指定された。そして、平成25年6月には史跡富士山が世界文化遺産の登録を果たした。

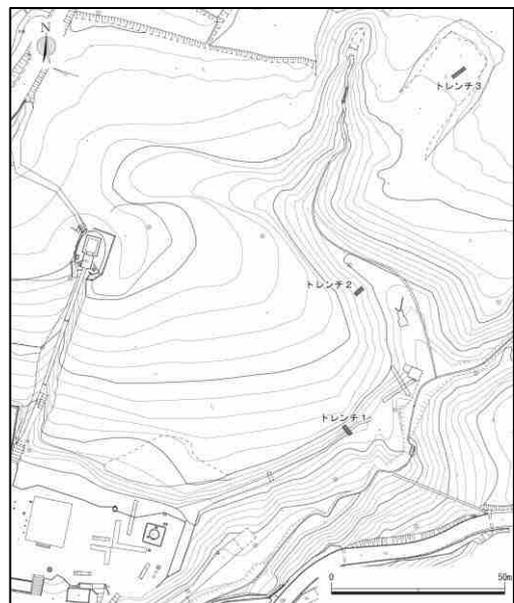


図2 トレンチ位置図

### 《主な遺構・遺物》

遺構：道路状遺構

遺物：土器（縄文時代）

### 《調査の成果》

図2のトレンチ1からは表土から約10～20cmの深さで硬化した層が確認された。この層は平成29年度の調査でも確認されており、同様の性質のものと思われる。硬化面の直下にはしまりがやや強い層を挟んで再度硬化した層が確認でき、版築状の層となっている。この硬化面は当時の龍頭池へと至る道であると考えられるが、判然としない。

版築状の層より下層は黒色の層があり、平成29年度調査でも同様に硬化した層の下層には暗い色の土層が確認されており、暗渠の可能性が考えられる。

また、硬化面に埋め込まれるように表面が炭化、もしくは燻された丸太が検出された。

今回の調査と平成29年度調査の成果を総合すると、村山浅間神社遺跡の北東側には湧水等から水垢離場に続く導水施設や道が敷設されていた可能性が考えられる。

図2のトレンチ2及びトレンチ3からは遺構は確認されなかった。



写真16 トレンチ1完掘状況

## 2 発掘調査報告書作成

富士宮市教育委員会が昭和57年に実施した滝戸遺跡第IV次発掘調査の成果、滝戸資料館からの寄贈資料、甲石遺跡、稲干場遺跡、精進川神田遺跡の出土資料について紹介する報告書、『富士宮市の遺跡VII』を刊行した。



写真17 富士宮市の遺跡VII

### 3 開発行為に伴う埋蔵文化財の試掘・確認調査

表2 開発行為に伴う埋蔵文化財の試掘・確認調査一覧表

番号	名称	所在地	調査期間	調査面積	時代	主な遺構	主な遺物
1	ジンゲン 沢遺跡	小泉	R2. 5. 21	10 m <sup>2</sup>	縄文(早・中・後)、古墳	なし	なし
2	南部谷戸 遺跡	黒田	R2. 5. 26	2 m <sup>2</sup>	縄文、古墳	なし	なし
3	出水遺跡	大岩	R2. 6. 23～25	31 m <sup>2</sup>	縄文(前・中)、古墳	池もしくは溜池状遺構	土器(奈良・平安時代)、陶磁器
4	大室遺跡	小泉	R2. 7. 2	6 m <sup>2</sup>	縄文(中・後)、古墳	なし	なし
5	出水西 遺跡	大岩	R2. 7. 15	1 m <sup>2</sup>	古墳(前)	なし	なし
6	月の輪上 遺跡	星山	R2. 7. 31	4 m <sup>2</sup>	縄文、弥生、古墳、中世、近世	なし	なし
7	大中里坂 上遺跡	大中里	R2. 8. 5	2 m <sup>2</sup>	縄文(中・後・晩)	なし	土器(弥生時代)、陶磁器
8	上中村 遺跡	淀師	R2. 8. 5	3 m <sup>2</sup>	弥生(後)～古墳(前)	なし	なし
9	滝戸遺跡	野中	R2. 10. 13	3 m <sup>2</sup>	縄文(中・後)、弥生、古墳	なし	なし
10	野中向原 遺跡	野中	R2. 10. 15	6 m <sup>2</sup>	縄文(中・後)、弥生、古墳	なし	なし
11	寺ノ後 遺跡	小泉	R2. 10. 22	0.7 m <sup>2</sup>	縄文(中)	なし	なし
12	渋沢遺跡	淀師	R2. 11. 24～25	6 m <sup>2</sup>	弥生(中)、中世	なし	なし
13	村山浅間 神社遺跡	村山	R2. 11. 24～25	13 m <sup>2</sup>	縄文、平安、中世、近世、近代、近現代	階段状遺構、石列	土器(中世)、陶磁器
14	泉遺跡	泉町	R2. 12. 3	2 m <sup>2</sup>	縄文(後)、弥生(後)、古墳、平安、近世	なし	なし
15	大宝坊 遺跡	杉田	R2. 12. 4	2 m <sup>2</sup>	縄文(中)	なし	なし
16	丸塚遺跡 隣接地	杉田	R2. 12. 8	6 m <sup>2</sup>	縄文(早)	なし	なし
17	貴船町 遺跡	貴船町	R2. 12. 11	2 m <sup>2</sup>	弥生、古墳(前～後)、奈良	なし	なし

番号	名称	所在地	調査期間	調査面積	時代	主な遺構	主な遺物
18	代官屋敷遺跡	小泉	R2. 12. 18	2. 4 m <sup>2</sup>	縄文(早・中・後)、古墳	なし	なし
19	城山遺跡	若の宮町	R2. 12. 21	60 m <sup>2</sup>	古墳(前～後)、中世	なし	なし
20	大宮城跡	大宮町	R2. 12. 25	0. 5 m <sup>2</sup>	古墳、平安、中世、近世	なし	なし
21	上ノ原遺跡	大中里	R3. 1. 13	27 m <sup>2</sup>	縄文(中)、古墳(前)	なし	なし
22	南部谷戸遺跡	黒田	R3. 1. 15	2. 5 m <sup>2</sup>	縄文、古墳	なし	なし
23	村山浅間神社遺跡	村山	R3. 2. 1～10	81 m <sup>2</sup>	縄文、平安、中世、近世、近代、近現代	造成跡、集石、焼土	青磁、国産陶磁器土器
24	浅間大社遺跡	宮町	R3. 2. 15～19	17 m <sup>2</sup>	縄文(早)、古墳、古代、平安、中世、近世	なし	土器(古墳時代)
25	甲石遺跡	大中里	R3. 2. 18	3 m <sup>2</sup>	縄文(中、後)、古墳	なし	土器・陶器
26	中ノ土手遺跡	小泉	R3. 2. 22	3 m <sup>2</sup>	縄文(前)、古墳(前)	なし	なし
27	大宮城跡	元城町	R3. 2. 24	3 m <sup>2</sup>	古墳、平安、中世、近世	なし	土器(古墳時代)
28	代官屋敷遺跡	小泉	R3. 2. 25	2 m <sup>2</sup>	縄文(早・中・後)、古墳	なし	なし
29	村山浅間神社遺跡	村山	R3. 3. 23	18. 8 m <sup>2</sup>	縄文、平安、中世、近世、近代、近現代	焼土	陶磁器
30	村山浅間神社遺跡	村山	R3. 3. 23	2 m <sup>2</sup>	縄文、平安、中世、近世、近代、近現代	なし	なし
31	滝戸遺跡	野中	R3. 3. 24	12 m <sup>2</sup>	縄文(中・後)、弥生、古墳	なし	土器(縄文時代、弥生時代)

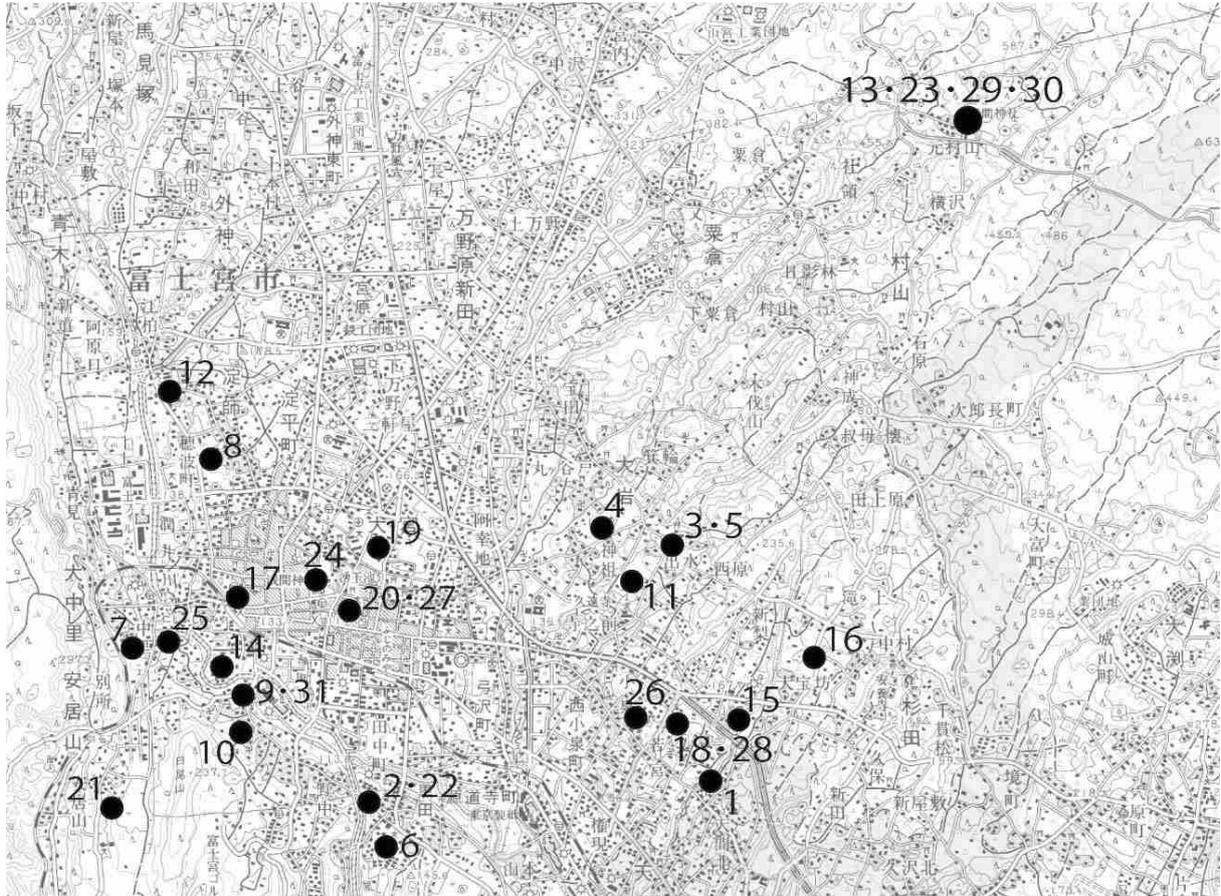


図3 確認調査実施箇所位置図 (S=1/50,000)

(1) 出水遺跡

所在地：富士宮市大岩

期間：令和2年6月23日から25日まで

面積：実掘面積 31 m<sup>2</sup>

目的：(仮称)富士根南交流センター建設計画に伴う確認調査

《遺跡の概要》

出水不動尊から東に 200mほどを包蔵地とする。縄文時代の前期・中期、古墳時代の散布地である。しかし、遺構などの検出例は未だにない。

《調査の概要》

(仮称)富士根南交流センターの建設計画に伴い、事前の確認調査が行われた。開発予定地に対し、トレンチを6か所設置し調査を進めた。

《主な遺構・遺物》

土器(奈良・平安時代)、陶磁器

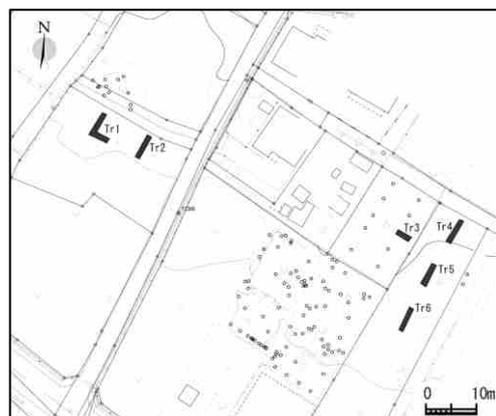


図4 トレンチ配置図

#### 《調査の成果》

トレンチ1では南側の表土から約40cm下にて、池もしくは溜井と考えられる遺構が検出された。この遺構の覆土からは平安時代のもと考えられる土器が出土している。

トレンチ2では近世以降のもと考えられる土坑、溝が確認された。これより下層には縄文時代の堆積層が残っていたが、この層からは遺構や遺物は認められなかった。遺物は表土中より陶磁器が出土したのみである。残りのトレンチ3～6は土地の改変が著しく遺構・遺物の検出には至らなかった。

当該地の東側はトレンチ3～6の結果から特筆すべき遺構や遺物はないと判断できる。

しかし、トレンチ1を設置した西側は池もしくは溜井状の遺構が確認されていることから、当該地の西側には遺構が広がっている可能性がある。

出水遺跡から西側には静岡県立富士宮東高校があり、木ノ行寺遺跡として発掘が行われている。この遺跡では、出水遺跡で確認された溜井状の遺構が確認されている。加えて、これらの遺跡がある小泉・大岩地区周辺では、他にも古墳時代後期から平安時代の集落遺跡が短い期間ではあるものの存在している。

出水遺跡では現在に至るまで遺構の発見例はなかったため、この発見が足がかりになる可能性もある。



写真18 トレンチ1完掘状況(北から)



写真19 出水遺跡出土遺物

#### (2) 村山浅間神社遺跡

所在地：富士宮市村山

期 間：令和2年11月24日～25日、令和3年2月1日～10日、3月23日

面 積：実掘面積 112.8 m<sup>2</sup>

目 的：駐車場整備に伴う確認調査

##### 《遺跡の概要》

Ⅲ-1-(2)の概要参照

##### 《主な遺構・遺物》

土器(中世)、青磁、陶磁器

## 《調査の成果》

1回目の調査では、トレンチを4か所設置し調査を行った。トレンチ1、2、4については、過去の造成により削平を受けており、流れ込んだ遺物の混入が見られるのみであった。トレンチ3からは階段状の遺構や石列が検出された。また、石列の埋土からは中世の土器や青磁碗の破片及び陶器片が出土した。

2回目の調査では、追加でトレンチを8か所設置して調査を行った。トレンチ1、2、6、8では谷地形を埋め、黄橙色土で表面を築成する造成跡が確認されている。傾斜に対して大掛かりな造成の跡が検出された。トレンチ5では、径1mの円形の落ち込みのほか、南側へと傾斜する落ち込みも検出された。トレンチ3、4では、焼土及び炭化物の堆積が認められている。トレンチ3では、建物の基礎に関わる礎石の根固石の一部となる可能性のある集石が2か所確認されている。トレンチ6からは、道状遺構の側溝と思われる遺構が検出された。中世～近世の青磁、国産陶磁器、土器が出土した。

3回目の調査では、トレンチを1か所設置し調査を行った。トレンチの南側では焼土が検出された。この焼土が2回目の調査で検出されたものと同一のものかは判然としない。遺物は近現代のものを除くと近世のものが大半であった。

当該地は、慶長14年（1609）の『当山内検地水帳写』や天保3年（1833）の『山内屋敷分配并略譜蝶』には村山浅間神社に関わる祭事を直接執行した村山三坊のひとつである池西坊が所在した場所である可能性がある。池西坊は、天文9年（1540）や元禄11年（1698）に火災にあった記録があり、2回目の調査のトレンチ3、4、3回目の調査成果との関連が想定される。2回目の調査で出土した焼土層中の陶器は、17世紀末～18世紀前半の年代を示すものとなっている。

また、青磁の出土については、村山浅間神社境内地の出土遺物と同時代のものである。村山浅間神社の信仰に関わる儀礼が大きく変化した時期に相当している。当該地は村山浅間神社にかかわる信仰施設が構築されていた領域であった可能性が考えられる。

そのため、駐車場整備工事を行う範囲で遺跡の保護ができない場所については、本発掘調査を令和3年度に実施することになった。

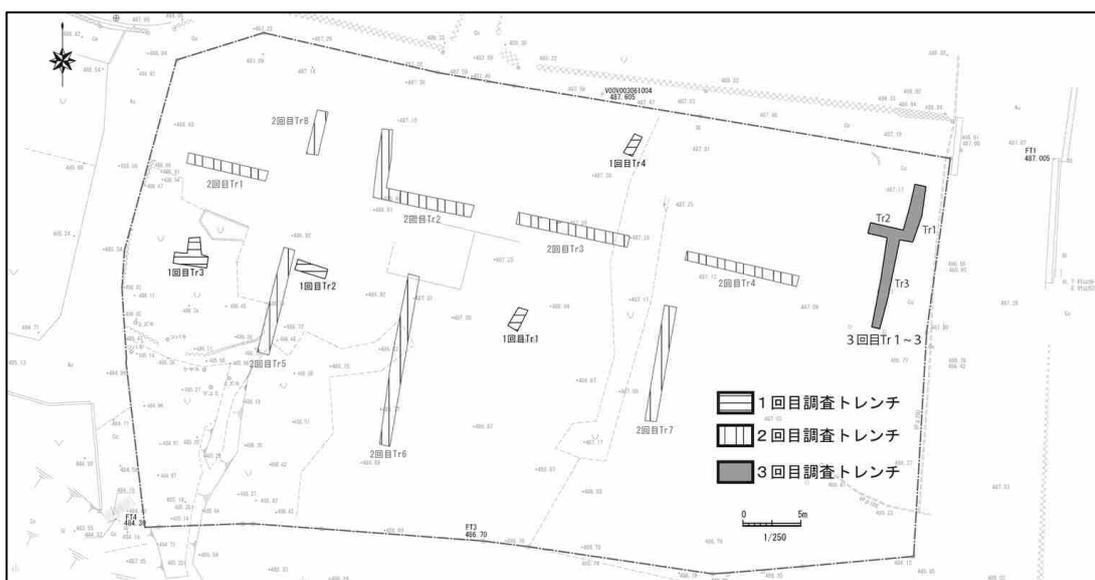


図5 村山浅間神社確認調査トレンチ位置図



写真 20 1回目トレンチ掘削状況

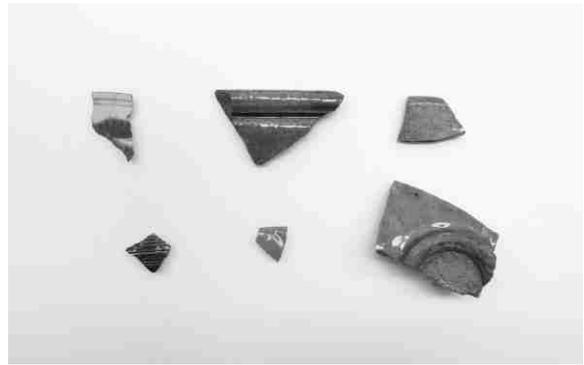


写真 21 1回目出土遺物



写真 22 2回目トレンチ3掘削状況



写真 23 2回目トレンチ6掘削状況



写真 24 2回目トレンチ7掘削状況

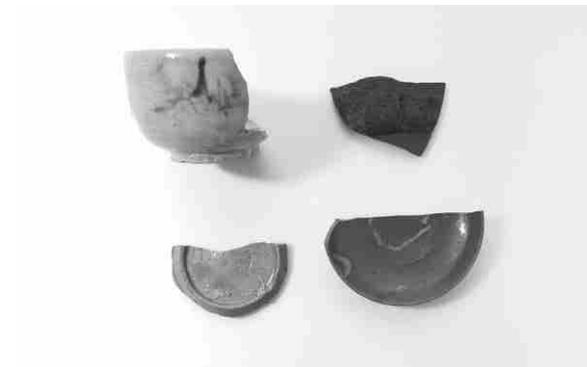


写真 25 2回目出土遺物



写真 26 3回目トレンチ掘削状況



写真 27 3回目出土遺物

### (3) 浅間大社遺跡

所在地：富士宮市宮町 1403

期 間：令和 3 年 2 月 15～19 日

面 積：実掘面積 17 m<sup>2</sup>

目 的：防火装置(炎感知器)設置に伴う確認調査

#### 《遺跡の概要》

浅間大社遺跡は、富士山の西南麓に位置する。遺跡は浅間大社境内を中心とした範囲に広がっており、国指定特別天然記念物の湧玉池を含んでいる。

古墳時代前期の住居跡などが発見されているが、その他にもかわらけや貿易陶磁器、青磁蓮弁文碗を含む土坑や掘立柱建物跡が検出されており、平安時代末～中世前半には神社に関係すると考えられる遺構が確認されている。

#### 《調査の概要》

防火設備(炎感知器)設置に伴う試掘確認調査であり、社殿の北東、北西隅の 2 か所にトレンチを設置し調査を行った。

#### 《主な遺構・遺物》

土器(古墳時代)

#### 《調査の成果》

防火設備の設置に伴い、配線をするために掘削する箇所に合わせてトレンチを 2 か所設置し調査を行った。

社殿北西隅のトレンチ 1 では、現代の社殿にかかわる造成の痕跡を確認した。

社殿北東隅のトレンチ 2 では、湧玉池に向かって地山面が急激に落ち込んでおり、斜面堆積の様相が確認できた。この斜面堆積土層からは、古墳時代の土器がまとまって出土した。本来は古墳時代の遺構があったと考えられるが、現代の浅間大社造営にかかる削平の影響で消失してしまったと考えられる。



図 6 トレンチ配置図



写真 28 トレンチ 2 掘削状況



写真 29 出土遺物

#### (4) 滝戸遺跡

所在地：富士宮市野中

期 間：令和3年3月24日

面 積：実掘面積 12 m<sup>2</sup>

目 的：富士宮市立第三中学校擁壁改修工事に伴う確認調査

##### 《遺跡の概要》

富士山の火砕層を源とする潤井川の右岸に展開する丘陵上に位置する遺跡である。

過去6度にわたり調査が行われており、縄文時代から古墳時代までの様々な遺構・遺物が発見されている。

##### 《調査の概要》

富士宮市立第三中学校擁壁改修工事に伴う、事前の確認調査であり、対象地にトレンチを6か所設置し調査を行った。

##### 《主な遺構・遺物》

土器(縄文時代・弥生時代)

##### 《調査の成果》

擁壁工事の第一期工事計画範囲内において、トレンチを6か所設定して調査を行った。

調査を行ったところ、トレンチ1～3では表土下120～160cmほどの造成土及び耕作土が確認された。その下層では黒褐色の土層が確認でき、トレンチ2では弥生時代の土器片が出土した。さらに下層では褐色の土層が確認され、この土層からは縄文土器が出土した。トレンチ4、5は230cmほどが表土層となっており、これ以上の掘削は危険と判断し、掘削を中断した。過去の調査及びボーリング調査では、250cm程表土が続くものと考えられ、この下にトレンチ1～3のような土層が堆積していると推定される。トレンチ6では、約140cmの表土の下には溶岩を含む基盤層が確認された。

当該地は、弥生時代以降の遺構確認面である火砕層スコリアは失われているが、その下層の黒褐色土層からは包含層が残存しているため、令和3年度本発掘を実施することになった。

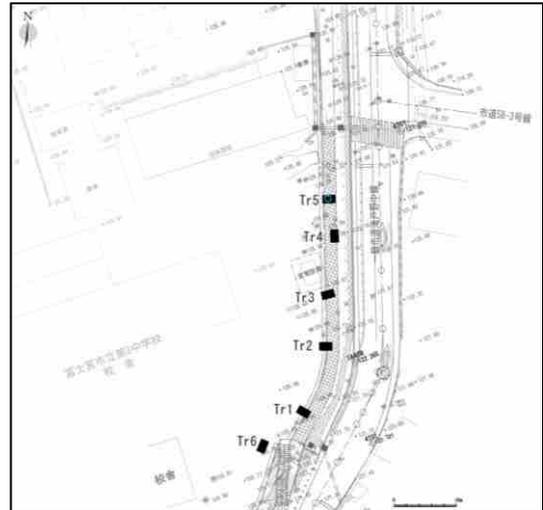


図7 トレンチ位置図



写真30 トレンチ1掘削状況



写真31 出土遺物

## 4 富士宮市埋蔵文化財センター

発掘調査で出土した遺物を収蔵保管し、整理作業を行っている。また、展示室では市内の遺跡・史跡の展示をしている。

### (1) 施設概要

所在地：富士宮市長貫 747-1

電話番号：0544-65-5151

FAX番号：0544-65-2933

駐車場：50 台

開館日：平日（祝日・年末年始休館、土・  
日曜日は団体のみ(要事前連絡)）

開館時間：9:00～17:00

見学料：無料

展示内容：旧石器時代から中世・近世の各時代出土資料、市内主要遺跡の紹介、  
史跡富士山関連遺跡発掘調査出土資料



写真 32 展示室

### (2) 現地説明会

史跡大鹿窪遺跡発掘調査時に現地説明会を行った。（巻末資料 i）

実施日：令和 2 年10月23日（金）及び24日（土）11時～、13時～

場 所：大鹿窪遺跡内

## IV 郷土資料館事業

### 1 展示

#### (1) 常設展示

- ①富士宮市の歴史（パネル解説・年表等により通史を紹介）
- ②富士山の信仰（パネル解説）
- ③富士山麓の動物・自然（剥製・年輪・溶岩類等）

#### (2) 館蔵品展示

##### ・前期（4月～9月）

大相撲板番付（大正5年8月6日に開催された富士宮巡業の板番付）、二股村石経塚（一字一石経）、大宮城出土大甕（常滑焼）等

##### ・後期（10月～3月）

駿甲国境争論（国境確定記念に作成された火鉢・古絵図）、二股村石経塚（一字一石経）、大宮城出土大甕（常滑焼）等



写真 33 館蔵品展示前期（4月～9月）



写真 34 館蔵品展示後期（10月～3月）

### 2 資料収集・保存管理

#### (1) 資料収集

表 3 郷土資料収集品一覧

受入月	内容	収集方法
令和2年 4月	歴史資料 一式	個人寄贈
4月	写真資料 2点	個人寄贈
4月	歴史資料 2点	現地採集
6月	美術資料 1点	個人寄贈
6月	歴史資料 一式	個人寄贈

6月	歴史資料	1点	個人寄贈	
7月	歴史資料	2点	個人寄贈	
7月	歴史資料	一式	個人寄贈	
8月	民俗資料	2点	現地採集	
8月	歴史資料	一式	個人寄贈	
12月	歴史資料	2点	個人寄贈	
12月	民俗資料	1点	個人寄贈	
12月	歴史資料	1点	個人寄贈	
令和3年	1月	民俗資料	一式	個人寄贈
	1月	歴史資料	1点	個人寄贈
	2月	歴史資料	一式	個人寄贈
	3月	民俗資料	1点	個人寄贈
	3月	民俗資料	一式	個人寄贈
	3月	民俗資料	1点	個人寄贈

※市史編さん事業において資料募集を行い、寄贈資料については郷土資料館で受け入れを行ったため、収集点数が大幅に増加した。

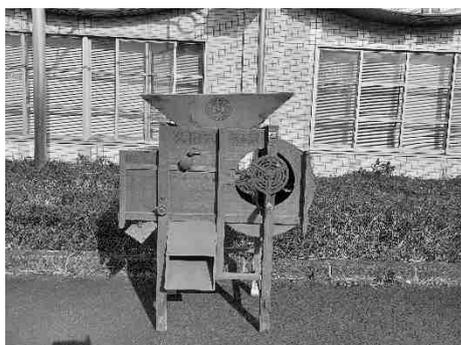


写真 35 唐 箕



写真 36 甲子講関係古文書・金毘羅大権現幟

## (2) 保存管理

### ア 収蔵品くん蒸事業

日 時：令和2年9月25日(金)から9月27日(日)まで

場 所：被覆くん蒸（埋蔵文化財センター収蔵庫内）（富士宮市長貫 747-1） 約 50 m<sup>3</sup>  
埋蔵文化財センター収蔵庫 約 600 m<sup>3</sup>  
埋蔵文化財センター別棟 約 550 m<sup>3</sup>

内 容：埋蔵文化財センター収蔵庫内で、被覆くん蒸法により、薬品名エキヒューム S による殺虫・殺カビくん蒸を実施した。あわせて、埋蔵文化財センター収蔵庫・同別棟では、薬品名ブンガノンによる殺虫処理を実施した。（施工業者：関東港業株式会社）

### 3 古文書等解読刊行事業

#### (1) 角田家文書刊行事業

角田家文書は、江戸時代に大宮町の町役人を勤めた佐野与市（角田桜岳）の家に伝わったもので、当時の大宮町の様子を知る貴重な史料群である。史料解読作業を完了し、年度末に『角田家文書』を刊行した。

### 4 絵図修復事業

#### (1) 絵図修復事業

郷土史家から寄贈のあった、昔の大宮町のまちの様子がわかる絵図「神領寺地耕地絵図面」（元治元年：1864）及び「静岡県管轄第廿六区駿州富士郡大宮街戸籍絵図面」（明治初年）について、劣化が激しいため、国宝修理装演師連盟加盟の専門業者（施工業者：株式会社墨仁堂）による文化財修復を実施した。



写真 37 角田家文書



写真 38 絵図

### 5 静岡県富士山世界遺産センター共同展示事業

#### (1) 曼荼羅複製作成事業

令和3年度に静岡県富士山世界遺産センターと共同で展示会を実施する。展示では、修復後初公開となる国指定重要文化財「絹本著色富士曼荼羅図」の展示を計画している。会期2か月間のところ、1か月間しか原本の展示ができないため、残り1か月間は複製を展示することとした。そのため、高精細撮影を行い、複製を作成した。併せて、「富士参詣曼荼羅図」（未指定）についても、撮影のみ実施した。

## V 歩く博物館事業

### 1 標柱・説明板整備

歩く博物館のPコース（沼久保地区）・Qコース（黒田・山本地区）において、説明板3基、標柱11基の説明内容の更新等の整備を行った。

## VI 市史編さん事業

### 1 概要

令和元年度に設置した市史編さん準備室は、令和2年度に市史編さん室と改称し、本格的に編さんを進める段階となった。

市史は、市民に親しみやすいものとなるよう、図や写真を多用した図説的な形式で、市制施行80周年を迎える令和4年度以降に分野別に刊行する予定である。

#### 市史刊行スケジュール

令和4年度 自然環境編

令和6年度 民俗編

令和7年度 通史編Ⅰ（先史・古代・中世）

令和8年度 通史編Ⅱ（近世）

令和9年度 通史編Ⅲ（近現代）

### 2 市史編さん委員会

市史編さん委員会は1回開催した。内容は、市史刊行スケジュールの変更（新型コロナウイルス感染症拡大の影響による民俗編以降の1年延期及び近世・近現代の分冊）、執筆要領策定についての検討を行った。

#### （1）市史編さん委員会の開催

第1回 開催日：令和2年12月21日（月）

内 容：市史刊行スケジュール変更、市史執筆要領策定ほか

### 3 分野別の活動

市史編さんが本格的にスタートし、自然環境、民俗、考古、中世、近世、近現代の分野ごと活動を開始した。各委員が執筆員を選任し、打合せや市内巡検、行事調査、資料調査等を実施した。

(1) 自然環境

- ・執筆員 2名
- ・打合せ 3回 目次、執筆分担の検討

(2) 民俗

- ・執筆員 4名
- ・打合せ 2回 目次、執筆分担の検討
- ・市内巡検 4回
- ・行事調査 6回（根原火入れ、杉田子安神社例祭、どんど焼き、番小屋、火伏念仏）



写真 39 民俗調査の様子

(3) 考古

- ・打合せ 1回 目次検討

(4) 中世

- ・執筆員 1名
- ・打合せ 2回 目次、執筆分担検討

(5) 近世

- ・執筆員 5名
- ・打合せ 1回 目次、執筆分担の検討
- ・市内巡検 1回
- ・資料調査 5回 古文書目録作成等



写真 40 古文書調査の様子

(6) 近現代

- ・執筆員 4名
- ・打合せ 1回 目次、執筆分担の検討
- ・市内巡検 1回
- ・資料調査 5回 古文書目録作成等

## 4 その他

事務局において市内の資料の所在を把握するため、市民に向けて古い資料の提供を呼び掛けた。

令和2年度は50件の情報提供をいただき、写真撮影等により記録した。

## Ⅶ その他の事業

### 1 問合せ対応

富士宮市の歴史や民俗などに関する、市内外からの問合せに対応した。要請に応じ、講座等の説明・案内を行った。

### 2 小中学校総合学習への対応

市内小中学校の総合学習（富士山学習）の一環として、児童・生徒の訪問・質問に対応した。また、各学校を訪問し講話を行った。

### 3 講師派遣

#### (1) 富士山まちづくり出前講座

富士山まちづくり出前講座は、市民の自主学習の支援や市政の広報のために設けられたもので、令和2年度も文化課職員が講師となり、中学校や交流センターにおいて、「ふるさとの歴史を学ぶ」と題して講座を開催した。

表4 令和2年度富士山まちづくり出前講座実施一覧

場所	対象	実施日	内容
富士宮市立富士宮第四中学校	生徒	令和2年9月20日	四中学区周辺の歴史・文化財
大富士交流センター	一般	令和2年10月13日	歩く博物館「万野原開墾の歴史」コースの解説
大富士交流センター	一般	令和2年11月10日	歩く博物館「万野原開墾の歴史」コースの解説と現地見学